

令和 7 年 度

医 学 部 医 学 科

総合型選抜，学校推薦型選抜

小 論 文

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで，この問題冊子を開かないでください。
2. この問題冊子には，表紙を除いて問題用紙は2枚，解答用紙は2枚，下書用紙は2枚あります。試験開始の合図があってから確認してください。
なお，文字等の印刷不鮮明，ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等があった場合は，手を挙げて監督者に申し出てください。
3. 試験開始後に，解答用紙の指定欄に受験番号を記入してください。
4. 解答はすべて解答用紙の所定の欄に横書きで記入してください。解答用紙の所定の欄以外に記入した解答は，評価（採点）の対象としません。
5. 解答用紙以外は，試験終了後，持ち帰ってください。

令和7年度富山大学医学部医学科総合型選抜及び学校推薦型選抜「小論文」に係る出典の記載誤りについて

令和6年12月16日に実施しました富山大学医学部医学科総合型選抜及び学校推薦型選抜の「小論文」の試験問題において、以下のとおり出典の記載に誤りがありましたので、お知らせします。

【内容】

設問2

(誤) 出典：日野原重明 仁木久恵 訳、平静の心 オスラー博士講演集
p148 医学書院（東京）, 1983年より引用，一部改変

(正) 出典：日野原重明 仁木久恵 訳、平静の心 オスラー博士講演集新訂増補版,
p148 医学書院（東京）, 2003年より引用，一部改変

令和7年7月7日
富山大学

設問 1

下の表は、都道府県別の研修医の採用人数である。この表を見て、平成 15 年度と令和 5 年度の比較において、首都圏（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）における変化と、北陸地域（富山県、石川県、福井県）における変化を中心に分析し、説明せよ。さらに、首都圏と地方の研修医数の格差の是正のために、どのような施策が考えられるか、合計 400 字以内で自身の考えを述べよ。

研修医の採用人数（都道府県別）

都道府県	(人)						
	平成15年度 ①	令和4年度 ②	令和5年度 ③	平成15年度 との差 ③－①	前年度 との増減 ③－②	前年度増減 率 ③／②	
北海道	288	318 (1)	338 (0)	50	20	106.3%	
青森県	56	94 (3)	72 (2)	16	△ 22	76.6%	
岩手県	38	61 (0)	69 (0)	31	8	113.1%	
宮城県	88	169 (1)	175 (1)	87	6	103.6%	
秋田県	61	66 (0)	73 (0)	12	7	110.6%	
山形県	56	68 (2)	61 (0)	5	△ 7	89.7%	
福島県	79	115 (0)	124 (0)	45	9	107.8%	
茨城県	85	171 (2)	197 (1)	112	26	115.2%	
栃木県	119	159 (5)	168 (3)	49	9	105.7%	
群馬県	119	114 (0)	115 (0)	△ 4	1	100.9%	
埼玉県	118	408 (9)	447 (9)	329	39	109.6%	
千葉県	268	435 (15)	475 (27)	207	40	109.2%	
東京都	1,707	1,287 (63)	1,273 (70)	△ 434	△ 14	98.9%	
神奈川県	404	630 (29)	641 (31)	237	11	101.7%	
新潟県	89	125 (0)	147 (0)	58	22	117.6%	
富山県	59	85 (0)	87 (0)	28	2	102.4%	
石川県	95	77 (0)	87 (2)	△ 8	10	113.0%	
福井県	48	62 (0)	52 (0)	4	△ 10	83.9%	
山梨県	54	59 (1)	63 (2)	9	4	106.8%	
長野県	104	121 (0)	136 (0)	32	15	112.4%	
岐阜県	116	149 (0)	144 (0)	28	△ 5	96.6%	
静岡県	109	260 (7)	281 (6)	172	21	108.1%	
愛知県	436	534 (14)	557 (25)	121	23	104.3%	
三重県	77	129 (0)	135 (0)	58	6	104.7%	
滋賀県	83	124 (4)	117 (4)	34	△ 7	94.4%	
京都府	411	261 (8)	260 (8)	△ 151	△ 1	99.6%	
大阪府	689	636 (23)	628 (24)	△ 61	△ 8	98.7%	
兵庫県	310	405 (6)	404 (10)	94	△ 1	99.8%	
奈良県	101	128 (4)	106 (2)	5	△ 22	82.8%	
和歌山県	68	100 (0)	94 (0)	26	△ 6	94.0%	
鳥取県	51	43 (0)	46 (0)	△ 5	3	107.0%	
島根県	30	57 (0)	53 (0)	23	△ 4	93.0%	
岡山県	146	176 (13)	178 (7)	32	2	101.1%	
広島県	181	186 (1)	178 (0)	△ 3	△ 8	95.7%	
山口県	93	99 (1)	105 (2)	12	6	106.1%	
徳島県	68	48 (0)	48 (0)	△ 20	0	100.0%	
香川県	50	54 (2)	73 (2)	23	19	135.2%	
愛媛県	65	74 (2)	88 (1)	23	14	118.9%	
高知県	47	58 (0)	69 (0)	22	11	119.0%	
福岡県	546	382 (4)	383 (7)	△ 163	1	100.3%	
佐賀県	58	60 (0)	52 (0)	△ 6	△ 8	86.7%	
長崎県	105	100 (4)	90 (4)	△ 15	△ 10	90.0%	
熊本県	115	103 (0)	88 (0)	△ 27	△ 15	85.4%	
大分県	54	83 (0)	77 (0)	23	△ 6	92.8%	
宮崎県	50	51 (1)	54 (1)	4	3	105.9%	
鹿児島県	91	100 (0)	121 (1)	30	21	121.0%	
沖縄県	81	141 (5)	159 (5)	78	18	112.8%	
計	8,166	9,165 (230)	9,388 (257)	1,222	223		

※ 令和4年度及び令和5年度採用実績の()は、採用実績のうち、小児科、産科プログラムで採用された人数の再掲

（出典：厚生労働省ホームページ 令和 5 年 9 月 14 日 医政局医事課医師臨床研修推進室
発表より引用. 一部改変. https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000171153_00007.html.
令和 6 年 10 月 28 日アクセス）

設問 2

以下は、ウィリアム・オスラー*の言葉である。

「教育とは何だろうか。それは外界の事物がわれわれに及ぼす働きかけによって起こる微妙な、かつ緩慢な変化にほかならない。つまり、あらゆる時代の偉大な精神の持ち主が書き残した記録、自然と人為的なものが美しく調和した環境、仲間である人間の人生の善し悪しがわれわれに及ぼす影響—まさにこういうものがわれわれを教育し、発達過程にある精神を形成する。」

あなたは将来、富山県の地域医療にどのように関わりたいか。その目標を簡潔に述べた上で、その目標に近づくために、あなたが受けたいと思う教育の理想像について、合計 400 字以内で述べよ。

*ウィリアム・オスラー（1849－1919）は、カナダ生まれの医師。カナダのマギル大学、米国のペンシルベニア大学およびジョンズ・ホプキンス大学、英国のオックスフォード大学で教授を歴任し、今日の医学教育の基礎を築いた人物とされる。

（出典：日野原重明 仁木久恵 訳、*平静の心* オスラー博士講演集、p148 医学書院（東京）、1983 年より引用、一部改変）

下書用紙

注意： この下書用紙に記入した解答は、採点の対象としません。
この下書用紙は持ち帰ってください。

紙 用 書 下

5 10 15 20

5

10

15

20 (400字)

(20×20)

紙 用 書 下

下書用紙

注意： この下書用紙に記入した解答は、採点の対象としません。
この下書用紙は持ち帰ってください。

下書用紙

5	10	15	20	
				5
				10
				15
				20 (400字)
				(20×20)

下書用紙